



耳の病気って?

細菌や寄生虫などが原因で炎症が起こり、いつもと違う耳アカやかゆみが生じる病気。

耳の病気で代表的なものは、耳の中に外部寄生虫のミミヒゼンダニ(通称耳ダニ)が寄生して炎症を起こす「耳ダニ症」と、そのミミヒゼンダニや、マラセチアといった真菌が耳にすみ着くなどして起こる「外耳炎」などが挙げられます。「耳の病気」は、子猫や保護猫に多いと考えられています。

主な初期症状

- しきりに耳をかく
- 耳から悪臭がする
- いつもと違う耳アカがたまる
- 頭を振る など



原因と予防法

ミミヒゼンダニは、すでに感染している猫と接触することです。そのため、耳ダニ症は適切な治療をおこなって完治すれば、室内で生活する限り再発することはほぼありません。しかし、複数飼いの場合は、1匹だけが完治しても、ほかの猫の耳にミミヒゼンダニが寄生していたら、再び感染する可能性は高いです。1匹が耳ダニ症にかかったら、すべての猫に寄生虫駆除薬を投与しましょう。また、耳アカが出ている場合のみ、週1程度の耳そうじが予防につながることもあります。耳アカが出ていたら、耳用洗浄液などで十分に湿らせたコットンでやさしく拭き取ってあげましょう。

「耳ダニ症」

代表的な耳の病気で、耳の中に外部寄生虫のミミヒゼンダニが寄生し炎症を起こします。黒い耳アカが出るのが特徴(右写真)で寄生虫駆除薬を投与して治療します。



耳ダニが寄生した猫の耳

黒いカサカサとした耳アカが大量に出ています。白いものはダニとその卵

「外耳炎」

ミミヒゼンダニが耳にすみ着くなどして起こり、耳の穴から鼓膜にかけて炎症が見られます。ミミヒゼンダニ以外にも、たまった耳アカや、そこで繁殖したマラセチアといった真菌や、その他の細菌の増殖が原因となるケースも。



治療法

治療は駆除薬、抗真菌薬や抗生物質など、原因に適した薬を使用するのが一般的です。また、外耳炎が悪化すると、鼓膜の奥が炎症を起こす「中耳炎」になる場合もあります。治療は抗生物質の投与が中心ですが、重症化すると手術が必要なケースもあります。飼い主さんが気づきやすい症状が出ているうちに受診しましょう。

雑誌「ねこのきもち」では、健康情報や困りごとなど飼い主さんの「知りたい!」を解決! ●こちらは、掲載した記事を再編集したものです。

ねこのきもち

アニコム損保ご契約者が
マイページから定期購読を申込みと
2号 (2ヶ月分) **無料!!**